

沿革

廃藩置県によって美濃国に設置された笠松、大垣、加納、岩村、郡上、苗木、今尾、高富、野村の9県が、明治4年11月に統一され岐阜県となりました。その後、明治9年に筑摩県（長野県）から高山県であった飛騨3郡が、平成17年に長野県から山口村が編入され、現在の岐阜県となりました。

市町村数は、明治の大合併、昭和の大合併により、明治22年の948市町村から昭和36年には105市町村と大幅に減少しました。そして、平成に入り、合併特例法によってさらに合併が進み、平成18年3月27日から21市19町2村の42市町村となっています。

区分	明治元年	明治2年	明治4年		明治9年	平成17年	平成18年3月27日～
	藩県併置		廃藩置県	行政区域の変遷			
美濃国	笠松県①	笠松県	笠松県	岐阜県①	岐阜県	岐阜県	岐阜県
	大垣藩	大垣藩	大垣県				
	加納藩	加納藩	加納県				
	岩村藩	岩村藩	岩村県				
	郡上藩	郡上藩	郡上県				
	苗木藩②	苗木藩①	苗木県①				
	今尾藩	今尾藩	今尾県				
	高富藩	高富藩	高富県				
	野村藩	野村藩	野村県				
飛騨国	飛騨県③	高山県	高山県	高山県②			
備考	①笠松県は4月25日に設置された ②藩はしばらく旧制のままとした ③飛騨県は5月23日に設置され、6月2日に高山県と改称した	①野村藩は2月12日、加納藩は6月20日、その他の藩は6月17日にそれぞれ版籍を奉還し、いずれも旧藩主が知事に任命された	①7月14日廃藩置県によって設置された県 ②高須藩は明治3年12月23日藩を廃して名古屋藩に併合された	①11月22日美濃国一円をもって「岐阜県」が設置された（美濃国であった名古屋旧高須藩の区域を含む） ②11月20日高山県は筑摩県に編入された	8月21日高山県を筑摩県（長野県）より編入	2月13日山口村を長野県より編入	令和8年1月1日現在21市19町2村

資料：岐阜県史 通史編 近代上

● 県内の平成以降の合併市町村

合併期日	新市町村名	旧市町村名	合併方式
平成15年 4月 1日	山県市	高富町、伊自良村、美山町	新設
平成15年 5月 1日	瑞穂市	穂積町、巣南町	新設
平成16年 2月 1日	飛騨市	古川町、河合村、宮川村、神岡町	新設
平成16年 2月 1日	本巣市	本巣町、真正町、糸貫町、根尾村	新設
平成16年 3月 1日	郡上市	八幡町、大和町、白鳥町、高鷲村、美並村、明宝村、和良村	新設
平成16年 3月 1日	下呂市	萩原町、小坂町、下呂町、金山町、馬瀬村	新設
平成16年10月25日	恵那市	恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町	新設
平成16年11月 1日	各務原市	各務原市、川島町	各務原市への編入
平成17年 1月31日	揖斐川町	揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村	新設
平成17年 2月 1日	高山市	高山市、丹生川村、清見村、荘川村、宮村、久々野町、朝日村、高根村、国府町、上宝村	高山市への編入
平成17年 2月 7日	関市	関市、洞戸村、板取村、武芸川町、武儀町、上之保村	関市への編入
平成17年 2月13日	中津川市	中津川市、坂下町、川上村、加子母村、付知町、福岡町、蛭川村、長野県山口村（注1）	中津川市への編入
平成17年 3月28日	海津市	海津町、平田町、南濃町	新設
平成17年 5月 1日	可児市	可児市、兼山町（注2）	可児市への編入
平成18年 1月 1日	岐阜市	岐阜市、柳津町	岐阜市への編入
平成18年 1月23日	多治見市	多治見市、笠原町	多治見市への編入
平成18年 3月27日	大垣市	大垣市、上石津町（注2）、墨俣町（注2）	大垣市への編入

注1 平成の大合併の中で、唯一の越県合併である 2 飛び地合併である

